

山と川、自然に囲まれた滝ヶ原。

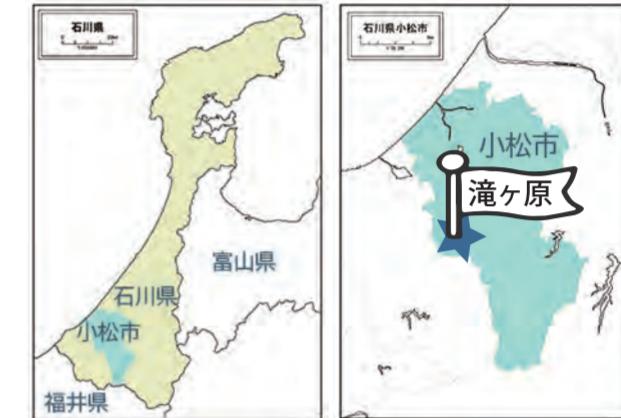
現代社会に疲れた人、自然に癒されたい人にはぴったりな場所です。

人のあたたかさあふれるこの地域で まつたりくつろぐひと時を。

自然と人が豊かに共生してきた滝ヶ原には季節ごとの良さがあります。見落としがちな季節の移ろいを、このカレンダーを通して様々な人に知ってもらおうと、公立小松大学学生 10 人が、朝倉先生指導のもと、実際に滝ヶ原に足を運び魅力を感じながら作成しました。滝ヶ原の地域の方々へヒアリングを行い自然生態系と人々の活動を掘り起こしました。

\*タイトルについて: <sup>チル</sup>Chill とは、「ゆっくりする、くつろぐ、まつたりと過ごすこと」を指します。この言葉が穏やかに時が流れる滝ヶ原にぴったりだと思い名付けました。

#### 滝ヶ原のアクセス



石川県小松市滝ヶ原町  
(小松市南部)

- ・JR 小松駅から車で 30 分
- ・JR 加賀温泉駅から車で 15 分
- ・小松空港から車で 30 分
- ・片山津 IC から車で 30 分

#### Chill ってみる? ~まつたりくつろぐ滝ヶ原~

企画・制作: 公立小松大学国際文化交流学部

地域実習「滝ヶ原フィールドワーク」メンバー  
紺村亜未 濑川茉央 高橋由奈 竹腰真凪 中野優生  
永瀬琴乃 野屋大地 畠山美咲 細川愛実 柳森ふたば  
(担当教員: 朝倉由希)

協力: 滝ヶ原の皆様

発行: 2024 年 2 月

## 石文化と自然あふれる里山 滝ヶ原

石文化が息づく滝ヶ原地区。約 1500 万年～2000 万年前の活発な火山活動により堆積した火山灰が緑色に変質し、凝灰岩地帯(グリーンタフ地帯)が広がっている中に小松市は位置しています。小松市内の里山では、グリーンタフ岩盤が断続的に露出しています。

弥生時代には貴重な碧玉原石の産地として、装飾品の原料を提供してきました。

江戸時代後期には滝ヶ原石の切り出しが始まりました。青みがかった耐久性の高い石で、神社の鳥居や家の土台などの建築物に用いられてきました。

滝ヶ原町を歩くと、柱、蔵、漬物石、桶などそこかしこに滝ヶ原石を発見でき、石を生活に取り入れてきた滝ヶ原の暮らしを垣間見ることができるでしょう。

2016 年、「『珠玉と歩む物語』小松～時の流れの中で磨き上げた石の文化へ」が日本遺産に認定されました。滝ヶ原地区には石文化のストーリーを構成する文化資源が集中して存在しています。

### 西山石切り場



道路沿いから見える、山壁に大きく四角に切り抜かれた穴は西山石切り場。滝ヶ原で 3 番目に古い石切り場で、天保年間から昭和中期まで稼働しました。石切り場としての役目を終えた今も滝ヶ原の象徴的な景観となっています。

### 滝ヶ原八幡神社大鳥居



滝ヶ原石で造られた滝ヶ原八幡神社の大鳥居です。石の文化レガシーに認定されています。

### \*日本遺産

地域の歴史的魅力や特色をストーリーとして認定し、地域全体としての一体的な整備・活用につなげる制度で、2015 年に創設されました。

### \*石の文化レガシー

日本遺産の文化財には、従来の国・県・市が指定する文化財保護制度により守られたものと、未指定のままの文化財があります。石の文化レガシーとは、その未指定文化財を守り、石の文化を守り未来へつなげるため、小松市「珠玉と歩む物語」保護条例に基づき認定されたものです。

### 本山石切り場



本山石切り場は文政時代から現在も稼働し続けています。約 270 メートル奥まで掘り進められており、中を見学してみると圧巻です! 音楽フェスにも使用されたことがあります。

### カエル岩



カエルに見えることから「カエル岩」の愛称で親しまれている美しい岩です。1500 万年前の火山活動で堆積した礫質凝灰岩でできています。

### 鞍掛山

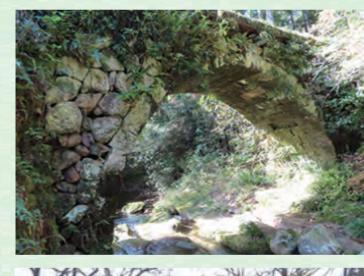


鞍掛山は小松市と加賀市に跨る標高 477.7m の山です。2つの峰で形成された特徴的な形をしており、馬の鞍に見えることから名づけられました。またその特徴的な形から、日本海を航行する船の目印となつたので「舟見岳」とも呼ばれています。

年間約 1 万人の登山客が訪れてています。併せて四季折々のイベントも開催され、地元の人や、県内外の人にとって重要な存在となっています。

### アーチ石橋群

滝ヶ原地区の宇谷川とその支流西口川にかかる 5 つのアーチ石橋は「滝ヶ原アーチ石橋群」として小松市指定文化財となっています。明治後期から昭和初期にかけ、石切り場で採掘した滝ヶ原石を用いて、地元の石工たちによってアーチ型石橋が造られ、地域住民の生業・生活に利用されてきました。以前は 11 基ありましたが、現在は 5 基(隣接する菩提地区にもう 1 基)を残すのみとなっています。日本のアーチ石橋のほとんどが九州地方にあり、北陸に集中して存在していることはきわめて貴重なことといえるでしょう。



- 上左 東口橋 (明治 36 年架橋)  
上中 我山橋 (明治 36 年架橋)  
上右 大門橋 (明治～大正 10 年架橋)  
下左 西山橋 (明治 36 年架橋昭和 25 年拡張)  
下右 丸竹橋 (昭和 10 年架橋)

### 滝ヶ原ファーム



滝ヶ原ファームは 2016 年に誕生しました。石蔵を含む古民家を 6 棟改装し、宿泊施設、カフェ、ワインバー、クラフト工房などとして活用されています。若者たちが国内外から集まる人気の施設になっています。

カフェの床や石蔵内の浴室には滝ヶ原石が使用されています。滝ヶ原の資源を最大限に活用した施設に人々が集い交流が生まれ、滝ヶ原地区内に新しい動きが起こっています。

## 春

## 夏

## 秋

## 冬

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

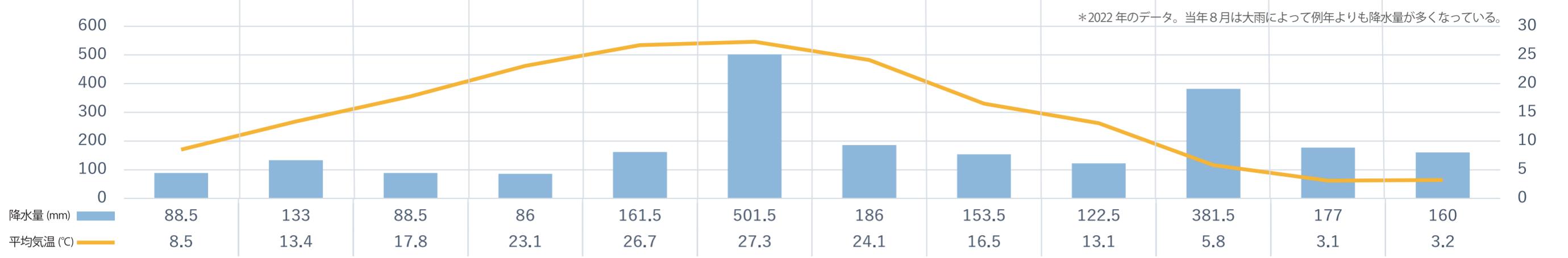
10月

11月

12月

1月

2月



## 四季の移ろい



## 花や山菜

菜の花  
雪割草  
(ミスミソウ)タムシバ  
(コブシ)

フキノトウ

フラビ

ゼンマイ

マンサク

シャガ

エビネラン  
ササユリ

ウツギ

ネムの木

シイの実  
アケビ  
ソバの実ヒガンバナ  
(マンジュシャゲ)

フユイチゴ



フユイチゴ

## 昆虫や動物

熊

ホトケ  
ドジョウ

マムシ

ウグイス

コマドリ

※春～秋



ギフチョウ

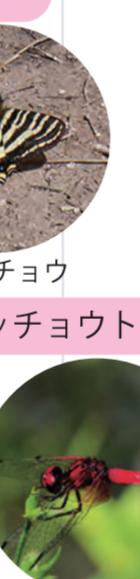
キジ

ハチ

サギ

コマドリ

※春～秋

ギフチョウ  
ハチ

アキギリ

ホツツジ

ミヅソバ

アカハラ

モズ

ムクドリ

ヤマガラ

イノシシ

クワガタ

カブトムシ

アカハラ

キツネ

モズ

ムクドリ

ヤマガラ

イノシシ

クワガタ

カブトムシ

アカハラ

キツネ

モズ

ムクドリ



二ホンカモシカ

## 里山自然学校 こまつ滝ヶ原



廃校（廻所）となった那谷小学校滝ヶ原分校と滝ヶ原保育所を新たな拠点として再利用し、里山の自然と文化を伝える活動を展開しています

早春の  
トンボの楽園  
環境活動親子で  
山菜ウォーク  
&  
食事交流会鞍掛山  
環境整備  
ボランティア  
活動トンボの楽園  
環境整備  
ボランティア  
体験活動

トンボの楽園

秋の鞍掛山  
トンボの楽園  
整備活動秋の鞍掛山  
健康登山鎮守の森  
きのこ観測会  
と食事交流会親子で  
シイタケ菌入れ  
体験と  
食事交流会親子で餅つき  
大会

滝ヶ原の生き物や石文化に関する道具等の資料が展示されている里山資料室



里山食堂

## その他

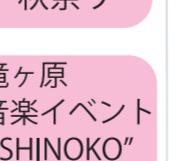
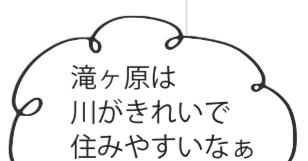
春祭り



川遊び



秋祭り

新嘗祭  
(23日)滝ヶ原は  
川がきれいで  
住みやすいなあホトケドジョウ  
(ドロダンゴ丸くん)

## 鞍掛山

山開き  
(20日)

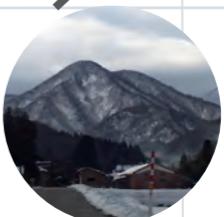
新緑登山

鞍掛山  
親子自然  
観察会

※子供の日



健康登山



冬の鞍掛山